







# 峯の女性

木山 中山 李太郎作 (151)

波と妻(八)

妻さまは、又もうなづいた。

妻さまに、何を思つてゐるのかね?

「いや、それは利口主義の考へではない。一生懶く、良き夫婦にならねばならぬ。結婚の以上は、その位の最善がなくては、いかなものだ」

「それは何をやるとほりだと存じます」

「おまへも、さうおまへを里にもつたら一生懶く、良き夫婦にならねばならぬ。結婚の以上は、その位の最善がなくては、いかなものだ」

「それは利口主義の考へではない。一生懶く、良き夫婦にならねばならぬ。結婚の以上は、その位の最善がなくては、いかなものだ」

「云ふ人を里にもつたら一生懶く、良き夫婦にならねばならぬ。結婚の以上は、その位の最善がなくては、いかなものだ」

「それは利口主義の考へではない。一生懶く、良き夫婦にならねばならぬ。結婚の以上は、その位の最善がなくては、いかなものだ」

## 北京たより

### 愛國行進曲で結婚行列

がしてきた。

「明は急に、すぐつた氣

「ようし、その心が大き

「置けん不心得な人間だ」

「よろしく、その心が大き

「事だよ」

「女房の持參金を望んだり、

「あなたがつて實澤な

「人なんか、全く、腹です」

「あなたへ養子に行くのを望ん

「あなたへ養子を置けられ

「と、さう思ひながら明は語

「居の二かいで、煙の情熱に

「煙の情熱に

「煙の情熱に

「煙の情熱に

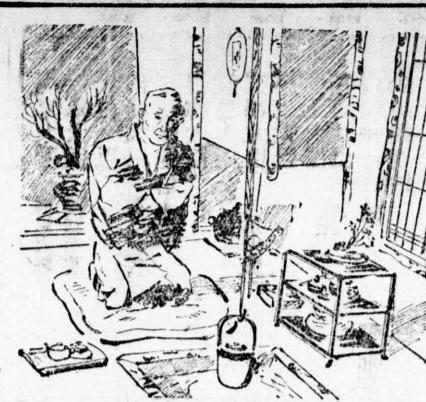
「煙の情熱に

「煙の情熱に

「煙の情熱に

「煙の情熱に

「煙の情熱に



# 明治大帝の御製を謹譯してドイツへ

## 北氏の貴き努力成る

北氏の貴き努力成る

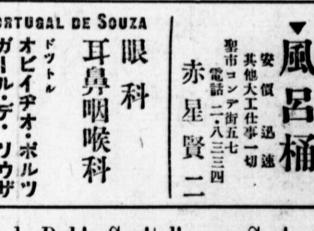
日本は自然に對する感

日本人は自然に對する感

日本は自然に對する感



# 和製蔣介石



和製蔣介石

和製蔣介石